

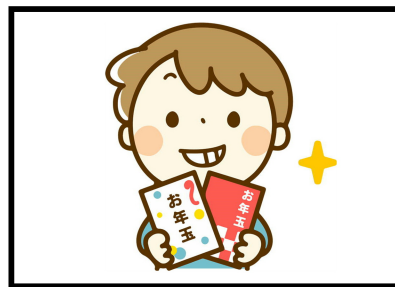
# おかげさまで 地元のお客様に支えられて

# 『60周年』



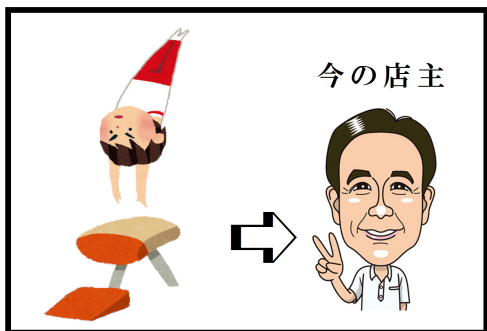
この頃の屋号は有田屋です

両親の当時の商売は洋品店でした。物が無い時代でしたので、子供ながらにとっても忙しかったのを覚えていま。私が小学3年生頃にはお店の手伝い(お年賀用のタオルを折って袋詰め)をしてお年玉をもらうのが楽しみでした。



ちょうど60年前に田町3丁目で商売を始めた頃の写真です。この頃私は3才。周りは田んぼと広場ばかりで、向かえは材木置き場でした。子供も沢山いて外で遊んでばかりいたのを懐かしく思い出します。(秋にはほとんりの広場でよく赤とんぼを追いかけてました)

## 今の店主



高度成長期には、親が新たに1店舗を出店。兄がブティックの店長を任せられ、2年ほど頑張りましたが、売り上げが伸びずあえなく閉店。

兄はその後自衛官になりました。出店で借金を抱えてしまったために、この頃はとても質素な生活をしていました。私が中学生になったころの話です。

私は器械体操部に入っており、当時ウルトラCだった塚原飛び等に挑戦していました。店で学生服の販売をほんの少し手掛けるようになったのもこの頃です。

銀行員からの転職・・・私は高校を卒業すると銀行員になりました。静岡市で3年間、富士市で2年間、東京で2年間働いたのちに退職し東京の別会社に就職、しばらくして父が病気になり、店をたたむと聞かされたので家を継ぐ決意をし帰郷。慣れない仕事を頑張りました。

とはいっても全くの素人だったので、知識はゼロ。お客さまにはずいぶんど迷惑をかけました。数年間は行商で小遣い稼ぎ、この頃から学生服の販売を本格的に始めました。予約を頂くために夜1件1件お願いに上がり、年間延べ訪問件数は600件ほどでした。門前払いは当たり前、犬にかみつかれた事もありました。毎日がストレスの連続で体調を崩す事に・・・。その頃お互いが嫌な思いをして仕事をする事に矛盾を感じ、ある時期に訪問営業や売り込みはきっぱりとやめました。すると大きな変化が・・・。



この続きは裏面に ⇨⇨